

愛教大の「いま」にであえる情報誌



国立大学法人  
愛知教育大学  
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

AUE Letter  
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

あえる

VOL. 9

2024  
Winter

## 創基 150 周年記念事業特集

### 愛知教育大学創基150周年記念式典



子どもの声が  
聞こえるキャンパス  
地域から頼られる大学

## 「創基150周年記念事業を終えて」

愛知教育大学長  
野田敦敬



11月19日日曜日、穏やかな秋晴れの中、本学講堂にて創基150周年記念式典、記念講演会、記念音楽会を開催しました。音楽会のフィナーレに、参加した附属学校の生徒や本学教職員等で、「学生歌」を久しぶりに思い切り歌いました。熱い感情が湧いてくると共に、ほっとした感がありました。

参加された皆様から「温かい雰囲気教育大学らしい式典だった」「清々しい気持ちになった」「附属特別支援学校のステージには感激した」「3世代の方のビデオメッセージは大学の歴史と地域とのつながりを感じた」「未来に向けての決意が頼もしい」等、お褒めの言葉をいただきました。これも1年以上かけて一丸となって準備をしてくれた教職員の皆様のお陰であり感謝いたします。

式典以外にも、誇ることのできる出来栄となった「記念誌」、記念写真展、「青い目の人形・愛知の会」との共催の特別企画展、二胡演奏会等も好評でした。

150年の長きに渡り、幾多の困難を乗り越え発展させていただいた先輩諸氏のご努力に敬意を表すると共に、附属学校園と共に更なる充実・発展をさせていかねばと決意を新たにしました。



1873年(明治6年)前身の愛知県養成学校の創設から数えて、今年で150年を迎えた愛知教育大学では、令和5年10月から11月にかけてさまざまな記念事業が行われました。

- ◆ 附属図書館AUEインフォメーションギャラリーで記念写真展 10月14日～開催中
- ◆ ヒガンザクラの記念植樹(附属図書館前とAUEスクエア) 10月23日記念植樹プレート除幕式挙行
- ◆ 記念写真展、地域の教育に関する企画展①「青い目の人形・あいちの会×愛知教育大学」合同特別企画展  
10月23日オープニングセレモニー開催
- ◆ 創基150周年記念式典・関連行事開催 11月19日
  - ・卒業生による記念講演会  
講師：片岡真実氏(森美術館館長/国立アトリサーチセンターセンター長)  
演題：「世界を学び続ける」
  - ・記念音楽会 本学6附属学校の児童生徒をメインに、卒業生や本学管弦楽団同窓会による合唱や演奏
- ◆ 創基150周年記念誌を発行 11月19日
- ◆ 地域の教育に関する企画展②  
二胡奏者 張濱(チャンピン)氏によるコンサート&ワークショップ 11月22日開催
- ◆ 地域の教育に関する企画展③  
生田流箏曲 笹野大栄・朗読 池上あきこ コン서트&ワークショップ 11月23日開催

これらの記念事業は、「愛知教育大学創基150周年記念事業寄附」として募った寄附金で運営されました。詳しくは本誌11ページを参照ください。

# 創基150周年を祝う！

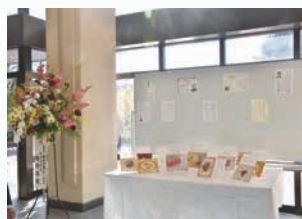
## 記念植樹



## 写真展・企画展



## 記念式典



野田敦敬学長



文部科学大臣祝辞代読  
伊藤学司文部科学戦略官



齋藤嘉隆参議院議員



飯田靖愛知県教育委員会教育長



## 創基150周年記念誌

## 片岡真実氏の記念講演会





# 記念音楽会（附属学校、AUE 管弦楽団同窓会 OB 管弦楽団）



附属特別支援学校



附属岡崎小学校



附属岡崎中学校



附属高等学校合唱部



附属高等学校合唱部とOB



附属名古屋小学校



附属名古屋中学校



附属高等学校吹奏楽部



AUE管弦楽団同窓会OB管弦楽団



野田敦敬学長の指揮によるフィナーレ



フィナーレ

## 地域の教育に関する企画展コンサート&ワークショップ



### 二胡奏者 張濱(チャンビン)氏

中国の弦楽器 二胡の奏者、張濱(チャンビン)氏の奏でる二胡の心に染み入る音色が観客を魅了。演奏会終了後は実際に二胡に触れることができるワークショップが開催されました。



### 音楽物語「愛知 青い目の人形物語」

生田流箏曲 笹野大栄氏ほか和楽器奏者の皆さんとフリーアナウンサー池上あきこ氏による音楽劇「愛知 青い目の人形物語」と「お琴にチャレンジ!」ワークショップの二部構成で開催されました。



## 中川 宏 監事

(略歴)

平成 18.1 トヨタ自動車株式会社 堤工場 工務部長  
平成 20.1 トヨタキロスカモーター株式会社 (トヨタ インド)  
代表取締役社長

平成 26.6 中央精機株式会社 代表取締役社長

【現職】 愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点  
戦略マネージャー

## 岡田 千絵 監事

(略歴)

平成 10.4 弁護士登録 名古屋弁護士会 (現・愛知県弁護士会)

平成 14.4 株式会社エムジーホーム 社外監査役

平成 18.4 非常勤裁判官 (名古屋簡易裁判所・民事調停官)

【現職】 弁護士 (鹿倉法律事務所)

愛知時計電機株式会社 社外取締役

AMGホールディングス株式会社 社外取締役



創基150周年記念式典が終了しました。この記念式典についての感想を聞かせてください。



### 講演と音楽、心を動かす瞬間

記念式典はその厳かな雰囲気や素晴らしい記念講演に感動しました。講演ではアートが哲学みたいに感じられ、勉強になりました。特に記念音楽会は、「子どもキャンパス」っていう大学のキャッチフレーズが体現されたような素敵な音楽会で、児童・生徒はもちろん、先生方の頑張りやひたむきさ、姿の尊さにジーンと胸を打たれ、教育の素晴らしさを実感しました。



### 心温まる一日、音楽の調べ

“Here Comes the Sun” あのThe Beatlesの名曲が心の中に流れてくるような、素晴らしい日和の中での心温まるイベントでした。左脳はロジカルな分野を、右脳はエモーショナルな分野を司ると言いますが、午前の式典と講演で左脳を刺激され、午後の記念音楽会では右脳を揺さぶられて、脳が活性化し心が揺れた素敵な一日でした。

他の150周年記念事業についての感想や意見等を聞かせてください。



### 多彩なイベントの意義、課題

青い目の人形展や記念写真展の開催は、歴史やその経緯を外部的に伝える貴重な機会として、その意義は大きいです。ターゲットの設定は非常に難しいことですが、さまざまな世代の方に響く形で展開することが大切だと思います。卒業生で年長の方であれば、懐かしさを感じる方もいらっしゃるでしょう。今後は学生の参加も含めたイベントが開催できるよう、さらなる巻き込みを期待しています。



### 準備と団結、感動への礎

「子どもと学生の声が響き合うキャンパス」へ

記念事業を通じ多くの意味深いメッセージが放たれ、多くの方々に伝わりました。この成果に向け準備に汗を流し、慣れない苦労と格闘しながらも頑張った方々の姿がありました。ありがとうございます。携わられた教職員の団結が成功をもたらし、参加者の感動につながったと思います。

こうした良い取り組みの記録や記憶を風化させずに伝承して欲しいものです。特に音楽会は本学にとって貴重な財産となり得ます。とりわけ、教員を目指す学生にとっては、心に響く貴重な体験となるでしょう。

創基150周年を迎えた愛知教育大学の将来について、今後の展望や期待することはありますか？



### 期待する未来と大学への展望

附属学校園を含めた大学全体で子どもと学生の声が響き合い、教育の素晴らしさを認識し合う学び舎に進化すべきだと思います。これこそが本学の存在意義。

そのために、学校全体でのコミュニケーションを重視する必要がありますと感じています。



### 「チーム愛教大」で前進を

明るく前進する愛教大の姿勢を期待していますが、厳しい環境下でのプレゼンス維持と全体での協力体制が重要になります。先頭に立っている人が頑張るだけでなく、「チーム愛教大」として皆が一つの目標に向かって協力する姿を期待しています。

#

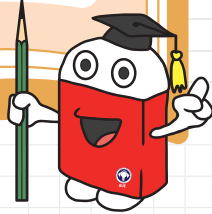
# 愛教大 ニュース

## NEWS

2023年7月～12月



愛教ちゃん



エディ

### 「子どもキャンパスプロジェクト」 使途限定基金がスタート

愛知教育大学として初となるプロジェクト等使途限定基金事業「子どもキャンパスプロジェクト」がスタートしました。

プロジェクト等使途限定基金とは、特定目的の事業を実施するため、使途を特定した寄附金であり、愛知教育大学未来基金内に設けられます。2年5か月間で、目標額は250万円を目指します。



## 子どもキャンパスプロジェクト活動レポート



・8月5日 宇宙体感体験プロジェクト

・8月10日 「絵本をあそぶ!

よみっこ夏のよみきかせ祭」

・8月11日 「動いて遊ぼう!レクリエーション」

・9月23日 AUEスポーツフェス#1

・8月11日、11月23日

あつまれ!子どもキャンパス#3、#4

・10月25日 附属特別支援学校小学部来学

・10月31日 星城高等学校1年生 授業体験プログラム



## 理科観察実験指導力向上セミナー (小・中学校教員対象)を開講

本学自然科学棟で、全国の小学校および中学校の教員の方々を対象に、理科の各分野における観察、実験授業の指導方法について研修するための「理科観察実験指導力向上セミナー」を開催しました。このセミナーは本学理科教育講座の各分野の教員が講師を務め、公益社団法人日本理科教育振興協会が主催し、本学が共催にて実施しており、小学校教員を対象としたセミナーは今年で11回目を迎えました。



## インターナショナルナイト 3年ぶりの開催

「夏祭り」をテーマとするインターナショナルナイトは、日本の夏祭りの体験を通じて本学の外国人留学生と日本人学生の親善を深めることを目的とし、国際交流ボランティアの学生が主体となって企画、運営する国際交流イベントで、対面で開催されるのはコロナ禍後3年ぶりでした。



## 「産休・育休教員カムバック研修 「ウェルカムGIGA!」を開催

本企画は、育児休業中の本学卒業生がお子さんを連れて大学に来た際に、「GIGAスクール構想で児童生徒が一人一台の端末を持つようになったが、しばらく学校から離れているので学校についていけるか、仕事と育児の両立がうまくいくか」といった不安を口にされたことがきっかけとなり、初めて実施したものです。産休・育休中や職場復帰直後の小中学校教員が参加しました。



## 附属幼稚園 園児が大学でさつまいも掘り

附属幼稚園4歳児クラス(赤組、青組)が担任教諭、養護教諭らとともに来学し、本学の野田学長、教職員と幼児教育講座の学生を含め総勢80人が自然観察実習園でさつまいも掘りを行いました。

野田学長から「さつまいもが大きく育って、早く皆さんに掘り起こしてほしいと、畑から顔を覗かせていますよ。大きなサツマイモをたくさん収穫してくださいね」とあいさつがありました。

例年に比べ、さつまいもの生育が良く、園児の手の平には収まりきらないくらい大きなさつまいもを収穫し、園児の賑やかな声と学生の笑顔があふれました。



## ダンス部が「アーティスティック・ムーブメント・イントヤマ2023 少人数による創作ダンスコンクール」にて2チームが特別賞受賞



「ASOBITO」の出演者



「まゆ繭一らの身をも捧ぐー」の出演者

## ひらめき☆ときめきサイエンス2023 「フィールドワークに行こう!」を開催

「フィールドワークに行こう!」では、地質学を研究する理科教育講座 星博幸教授が、1800万年前の東海地方のようすをフィールドワークによって探究してもらうプログラムを企画・実施し、県内外から中学生23人が参加しました。



## SDGs啓発活動報告

### AUEパートナーシップ団体「学生団体SAGA(サーガ)」



- 「SDGs将来世代創造フォーラム2023」に参加
- 「環境デーなごや2023」に参加
- SAGA作成のSDGs教材「バイオミミクリーランプ」贈呈式  
(豊田市・刈谷市・岡崎市の小学校にて)
- 「SDGs AICHI EXPO2023」に参加



#### 理科教育講座 星博幸教授が 2023年度「日本地質学会論文賞」を受賞

今回は星教授を含め8人の著者が共同執筆した論文が受賞対象になりました。

##### 【論文】

入月俊明・柳沢幸夫・木村萌人・加藤啓介・星 博幸・林 広樹・藤原祐希・赤井一行「2021、近畿地方の瀬戸内区に分布する下-中部中新統の生層序と対比」(地質学雑誌, 第127巻, 7号)

##### 【受賞した星教授の感想】

この度、栄誉ある日本地質学会論文賞を受賞することができ、大変嬉しく思っています。本研究において私は、専門分野である古地磁気学と地質年代論の立場から貢献したと考えています。論文賞は三度目の受賞ですが、これに満足せず、研究をますます発展させて学術に貢献するとともに、この分野における本学のプレゼンスを高め、さらに研究成果を本学の学生教育に生かしたいと考えています。



#### 図画工作・美術専修の学生が 小学生向けのワークショップ

本学図画工作・美術専修の学部3年生5人が、スペースAqua(刈谷市)にて「段ボールでフォトフレームをつくろう」のワークショップを実施しました。このワークショップは、刈谷市中心市街地活性化のための連携・協力に関する協定に基づき例年実施しているもので、刈谷駅前商店街振興組合と協力して行っています。





## 令和5年度総合防災・防火訓練

学生、教職員あわせて約550人が参加しました。  
南海トラフ地震が発生したとの想定で、非常災害対策本部を設置し、訓練開始となりました。  
事務職員が組織する自衛消防隊による防災・防火訓練では、各班長の指示により、班員たちは真剣な表情で各自、学生の避難誘導、屋内消火栓による初期消火や負傷者の救出救護などの訓練に取り組みました。



## 幼児教育講座 樋口一成教授 「木のおもちゃ展」

おかざき世界子ども美術博物館で『動きや音を楽しむ 樋口一成 木のおもちゃ展』が開催されました。幼児教育講座の樋口一成教授が考案した40点以上の木のおもちゃは、重力による不思議な“動き”と“音”を、また9点の道具の形をしたベンチでは心地よい“木の香り”を楽しむことができます。  
週末には1日平均650人の家族連れが訪れ、また、平日には親子遠足や校外学習などの団体利用も見られ、子どもたちにとって芸術を体験する貴重な機会となりました。



## 附属図書館にて中学生が体験学習を実施

豊明市内の中学2年生2人が附属図書館にて2日間にわたり職場体験学習を実施し、業務を体験しました。  
生徒たちは大学に来るのも職場体験も初めてのことで、慣れないなかさまざまな体験をしてもらい、一冊の図書が図書館に届いてから利用者に貸出・返却されるまでの一連の処理のほか、本学の教育・研究成果等をインターネット上で公開するシステムである「愛知教育大学学術情報リポジトリ」へ論文の登録作業を体験してもらいました。体験後には「利用者が利用しやすいように考えられていることを知って自分も他の場面でも実行していきたい」と感想が寄せられました。



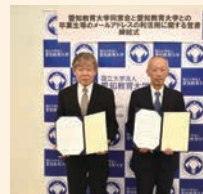
## 科学ものづくりフェスタ

愛知教育大学第一共通棟で「第17回科学・ものづくりフェスタ@愛教大」を開催し、過去最多となる約1600人の来場者でにぎわいました。  
イベントには、本学学生や教員以外にも、本学附属高等学校や名古屋市立工業高等学校などの高校生や、連携企業である中部電力パワーグリッド株式会社、さらに、国際学術交流協定締結校であるモンゴル国立教育大学から、合わせて40ブースの出展がありました。学生たちは、子どもたちと親しく触れ合う絶好の機会とあって、積極的に声掛けし、優しく丁寧に教えている様子が印象的でした。



## 連携・協定・覚書等について

- 8月2日 中部学院大学と教員養成の高度化に関する連携協定を締結
- 9月14日 岐阜県北方町と教育分野における連携協定を締結
- 10月4日 岐阜県各務原市教育委員会と相互連携に関する協定を締結
- 10月18日 刈谷市教育委員会と教職大学院の研修実施に関する覚書を締結
- 11月2日 愛知教育大学同窓会と卒業生等のメールアドレスの利活用に関する覚書を締結
- 11月17日 附属高等学校と上海市甘泉外国語中学との友好協力交流協定を締結
- 12月15日 国立大学法人大阪教育大学と包括連携協定を締結
- 12月22日 三重県川越町と教育分野における連携協定を締結



## 愛知教育大学未来基金について

愛知教育大学未来基金は、子どもたちの未来を拓くことができる教員の養成と、学校教育を支援する人材の育成に資することを目的とし、皆様からのご寄附をもとに、教育研究活動に関する支援事業、修学に関する支援事業、国際交流の推進に関する支援事業、教育研究環境に関する整備事業などに取り組んでいます。

### 未来基金の種類

**教育研究基金**：学生表彰、留学生の交流、課外活動等で、幅広く学生を支援しています。

**AUE修学支援基金**：経済的な理由で修学が困難な学生を支援するため創設された基金です。

用途が限定されており、具体的には次の事業に活用されます。

◆本学独自の返済不要な「愛知教育大学奨学金ひらく」の支給

◆学生の海外での多文化体験活動の支援

**プロジェクト等使途限定基金**：特定目的の事業を実施するため、使途を特定した基金です。

「子どもキャンパスプロジェクト基金」は2023年11月からスタートしました。

**リサイクル募金**：読み終えた本・DVD・ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額が未来基金に寄附される取り組みです。



### 令和4年度収支

収入：649件	27,559,400円	教育研究基金	213件	23,056,900円
		(創基150周年記念事業寄附を含む)		
		AUE修学支援基金	436件	4,502,500円
支出：	9,413,573円	奨学金1,488千円、学生表彰100千円、海外留学支援3,220千円、 課外活動支援200千円、国際交流事業2,000千円、その他2,406千円		

### 寄附者様からのコメント

◆無事4年間息子が修学できたのは、援助していただいたおかげです。せめてもの恩返しに寄附させていただきます。(保護者様)

### 受給学生からのコメント

◆支援をいただくことができたおかげで、当初予定していたよりも生活に余裕ができ、充実した留学生活を送ることができました。留学先では絶対に日本ではできないような経験をさせていただくことができ、成長することができたと思います。帰国後もより一層学業に専念してまいります。(留学支援事業受給学生)

◆父が今年の7月に他界しました。今後どう前向きに生きていこうか不安でいっぱいとき、「ひらく」のご支援をいただきました。皆さまが背中を押してくださっているようで、経済的、精神的に大変支えになりました。皆さまの温かいお気持ちと、生前、教師になることを心待ちにしていた父の姿を胸に頑張ります。

(AUE修学支援基金受給学生)

# 愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附について

みなさま、ご寄附ありがとうございました。



寄附受入実績（2023年11月末現在）： 186件 14,974,000円

## 創基150周年記念事業寄附者ご芳名（2023年4月～11月） 合計：101件 8,640,000円

(法人・団体)	愛知教育大学後援会 様 有限会社タケイチホーム 様 大日本図書株式会社 様	愛知教育大学同窓会 様 同窓会名古屋地区56年次同期会 様			
(個人)	山田 浩平 様 柴田 宣枝 様 山本 かほる 様 吉田 厚司 様 細野 隆男 様 秋山 香織 様 鈴木 三朗 様 加藤 雅之 様 浅井 富雄 様 松原 夏樹 様 田崎 大輔 様 山田 ちづ子 様 城所 良和 様 草野 寿士 様 鬼頭 百合子 様 今井 利也 様	野地 恒有 様 宮嶋 芳春 様 山内 裕治 様 藤松 照文 様 若松 彦彦 様 野田 敦敬 様 伊藤 博博 様 風岡 正明 様 河野 栄一 様 古田 正輝 様 中川 正広 様 宮島 宏夫 様 加藤 年陽 様 横井 肇 様	黒川 知文 様 前原 義久 様 原田 康隆 様 稲田 和久 様 玉川 恭美 様 石川 保美 様 尾川 奈美 様 北村 貴文 様 村谷 隆子 様 水野 尚司 様 坂野 宏夫 様 野村 忠良 様 別府 聖子 様 真島 嗣 様 石原 嗣 様	高木 敏部 様 杉浦 市橋 様 川本 田沼 様 池田 長松 様 沼谷 神永 様 谷藤 伊坂 様 藤井 磯部 様 小島 小島 様 島頭 鬼頭 様 太田 太田 様	遠真 慧真 様 二一 良裕 様 幸和 正司 様 健和 裕己 様 也奈 里子 様 美勉 一宏 様 昭弘 弘 様



ほか、お名前の公表を希望されない寄附者様 35名

\*2023年3月以前ならびに12月以降にご寄附の方のご芳名はホームページにて掲載させていただきます。



愛知教育大学は、令和5年に創基150年を迎えるに当たり、令和5年11月に愛知教育大学創基150周年記念事業を行いました。(記念事業の実施内容につきましては3-4ページを参照)

引き続き令和6年3月まで「愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附」を受け付けておりますので、皆様方におかれましては、ご協力いただきますようお願いいたします。

## 愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附について

### 概要

- **名称**：愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附
- **募集期間**：令和4年(2022年)9月1日から令和6年(2024年)3月31日まで
- **募集金額**：一口1,000円(複数口のご寄附を歓迎します。)
- **実施事業**：創基150周年記念事業  
修学や国際交流の推進に関する支援事業および教育研究環境に関する整備

## ご寄附の手続きについて

愛知教育大学未来基金へのご寄附は、インターネット・金融機関・本学財務課窓口での手続きによるご寄附となっております。本基金の趣旨をご理解いただき、複数口のご協力をいただければ幸いです。  
※お申込みいただいた方の個人情報、基金関係事業のみに使用させていただきます、個人情報は適切に扱います。



ご寄附の手続きについて

## 寄附者の方へのお礼について

未来基金(愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附を含む)へご寄附をいただいた方には、未来基金ホームページ等の芳名録への掲載のほかに、金額に応じてさまざまなお礼をご用意しております。  
詳しくはホームページをご覧ください。

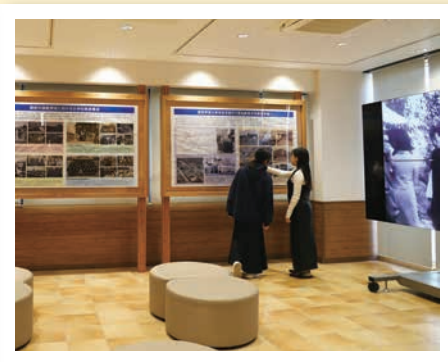


愛知教育大学  
未来基金HP

# キャンパススナップ

創基 150 周年記念写真展引き続き開催中！

創基150周年記念式典や関連行事は終了しましたが、附属図書館AUEインフォメーションギャラリーでは引き続きパネルによる写真展を開催中です。ぜひお立ち寄りください。



## 特別支援教育棟改修中！

毎年、講義棟の改修工事が続く愛知教育大学。  
現在改修工事中の特別支援教育棟は2024年3月に完成予定です。  
これまで改修された講義棟の紹介は右記から観ることができます。

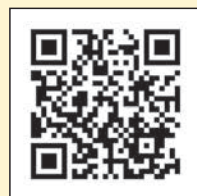


現在の特別支援教育棟



改修後の特別支援教育棟(予定図)

## 施設紹介動画

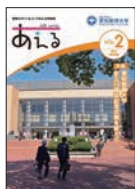


## 広報誌「あえる」backnumber

1号



2号



3号



4号



5号



6号



7号



8号



愛知教育大学  
公式マスコットキャラクター



愛教ちゃん



エディ



愛知教育大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



国立大学法人  
**愛知教育大学**  
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

愛知教育大学広報誌「あえるAUE Letter」VOL.9  
(2024 Winter) 2024年1月発行  
編集・発行／愛知教育大学 総務・企画部 広報課  
E-mail/kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp  
<https://www.aichi-edu.ac.jp/>

